

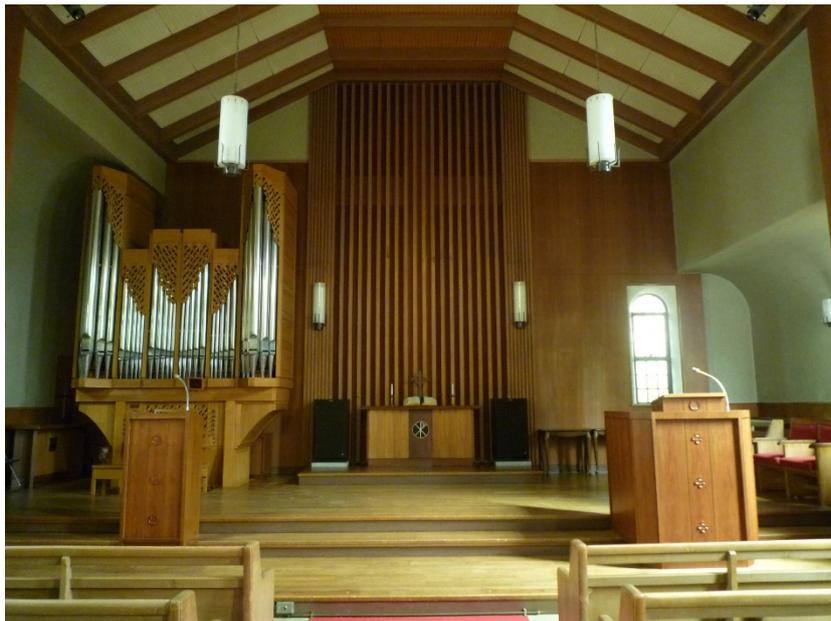
チャペル週報

No.14

2023.7.17~7.21

主こそ王。全地よ、喜び躍れ。多くの島々よ、喜び祝え。

詩編 97 編 1 節



ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター

関西学院での 33 年間 ～夏休みを迎えるにあたって～

児島 幸治

関西学院中学部に 1985 年に入学してから現在までおよそ 33 年間、人生の約 3 分の 2 を関西学院で過ごしてきた。折に触れ、中高大の同窓と集まったり、米国滞在時にお世話になった OGB と交流したりと、関西学院なくして私は自分を語るができない。

関西学院は 2039 年に創立 150 周年を迎える。これから益々進む少子化により学部入学生獲得を巡り、競争は激化していくだろう。その中でミッションとして掲げる「キリスト教主義に基づく、”垣根なき学びと探究の共同体（ラーニングコミュニティ）”をめざし、全人的な教育と創造的な研究により、有能にして心温かい世界市民を社会に送り出すこと」により、引き続いて存在感を維持していくために我々にどのような行動が求められているのだろうか。どうすれば関西学院がこれからも国際性と多様性を理解し、他者への思いやりを持ちながら様々な課題に取り組み、より良い社会を実現するために貢献できる人材育成を続けていくことが出来るだろうか。

経営学者のチャールズ・A・オライリー氏が提唱する「両利きの組織（Ambidextrous Organizations）」は、既存事業を深掘りしつつ、新規事業を探索していく能力をどちらも発揮することが長期的な生き残りに不可欠というものだ。既存事業の競争力・収益力を高め、同時にイノベーションによる新たな成長機会を模索していくというこの考え方が現在の関西学院に必要なのではないか。関西学院のこれまでの歴史というのはいくつかの既存事業と例えていいだろう。新規事業を探索していく能力とは、多様性との共生を尊ぶラーニングコミュニティであるという理念にそって、多様な人材がそれぞれの能力を最大限に発揮することによりイノベーションを生み出していく環境を整えていくことではないだろうか。

これまで関西学院において恩師、同窓、先輩後輩、OGB から学んだことに加えて、米国で過ごした期間、研究を通じたあらゆる交流、家族との時間、そういった自分が経験し、獲得した知見のすべてを糧として、両利きの経営の一端を担う行動が何かできると信じたい。

夏休みを迎えるにあたって、週報を読んでおられる学生のみなさんもこのラーニングコミュニティの中でどのように自分らしさを発揮できるかを考え、行動する有意義な夏休みにしていただければ幸いである。

（国際学部教授）

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00

神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

7/19 水

神 丸尾 彩華（神学研究科 M2 年）岡元 麻奈（神学研究科 M2 年）
社 イエスのたとえ話から⑥ 打樋 啓史（宗教主事）
法 Jannette McIntosh（宣教師、国際学部教授）
商 岩松 正洋（商学部教授）
人 橋本 祐樹（神学部准教授）
国 学期末をむかえて 重政 公一（国際学部教授、副学部長）
理・工・生環 ALL 賛美歌プログラム②
教 学期末を迎えて 梶原 直美（宗教主事）

20 木

神 テゼの集いに向けて
上田 直宏（日本キリスト教団 主恩教会牧師）橋本 祐樹（神学部准教授）
文 Andreas Rusterholz（宗教主事）
社 学期末にあたって 島村 恭則（社会学部長）
法 大宮 有博（宗教主事）
経 学期末を迎えて～夏休みを前に～ 舟木 譲（宗教主事）
商 木原 桂二（宗教主事）
人 武田 丈（人間福祉学部長）
国 Chapel in English Janette McIntosh（宣教師）
総 村瀬 義史（宗教主事）

21 金

神 岩野 祐介（神学部長）
文 Chapel in English Andreas Rusterholz（宗教主事）
経 Chapel in English Janette McIntosh（宣教師、国際学部教授）
理・工・生環 ALL 賛美歌プログラム③

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）

7月21日（金） 国際連携機構のために 成田 静香（国際連携機構長）

毎週金曜日、各テーマに沿ったお話を聞き、参加者で祈りを捧げています。学生・教職員の方々に開かれた祈祷会です。ランバス礼拝堂と Zoom 併用で実施しておりますので、ぜひご参加ください。

Zoom でご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター（shukyocenter@kwansei.ac.jp）へ

①メールアドレス ②お名前 ③所属 ④関学との関係（学生等）をメールでお知らせください。

●院長室から発信！ ビデオメッセージ「風に思う」 配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」の配信をしています。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。



(月2回程度更新されます)

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」 関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパス(1405教室)では、大学院授業期間中の月1回、原則第2木曜日にチャペルアワーを開催します。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

10月12日(木) 17:50~18:10 打樋 啓史(宗教総主事)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

9月24日(日) 10:00~11:00

●CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

郵送でのご送付先: 〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●「チャペル週報」のバックナンバー(2005年以降)は下記で閲覧できます。

URL: <https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>

2023年度春学期の「チャペル週報」は本号が最終号となります。

授業期間中毎週月曜日発行の本紙には、各学部のチャペルスケジュールやキリスト教関連行事の案内ほか、教職員によるエッセイを掲載しています。このエッセイは、執筆者から皆様へのメッセージとして記されたものです。各学部のチャペルとともに、あなたの心に何かを残すことができれば幸いです。

秋学期の発行は9月20日(水)からです。どうぞ健康に留意して夏休みをお過ごしください。

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

